

2019年度 TLPロシア語ロシア研修プログラム募集要領

トライリンガル・プログラム（TLP）ではプログラムの一環として、2019年8月下旬から9月中旬まで、17日間程度のロシア語研修を、ロシア連邦のサンクト＝ペテルブルグ市などにて行う予定です。

このプログラムはロシア語の特訓とロシア文化・社会のよりよい理解のために行われるもので、資格を持つ学生に奮って応募していただきたいと思えます。

つきましては、下記の要領で選抜を行います。

- (1) 資格：2018年度、ロシア語を初修外国語として履修していた現2年生（2年Sセメスターでもロシア語の授業を履修していることが望ましい）。かつ、有効期限が2021年4月1日以降のパスポートを所持している者（ビザ発給条件の関係上）。適当なパスポートを所持していない者は、下記の試験までにはかならず取得手続きをすること（選抜後のスケジュールに時間的余裕がないため、事前に必要なパスポートを所持していない者の受験は認めない）。
- (2) 選抜方法：筆記試験と面接（ロシア語による試問含む）。1年生時の授業態度も考慮する。試験範囲は、1年生時の共通教材『ロシア語をはじめよう』第19課まで。筆記試験に基づき第一次候補者を選抜し、メールで連絡する。その後の面接でもって最終的に決定する。
- (3) 選抜日程：4月中旬・下旬を予定。一次筆記試験は、4月15日（月）6限に実施。
- (4) 費用：10～15万円程度の奨学金を支給予定（金額は目安）。それ以外に同程度の自己負担が見込まれる。
- (5) 注意：
 - ① 出国から帰国まで、全期間の参加以外は認められない。
 - ② 選抜後、自己都合による辞退は認められない（キャンセル料などが自己負担となる）。
 - ③ ビザ発給をロシア大使館に申請中、パスポートを預けることになるので（7月後半から8月中旬のあいだの10日間程度）、その時期にパスポートを使用する予定の者は本研修には申し込めない。
 - ④ 現地では単独行動は認めない。他者と協調性のある、責任感を伴う行動をとることができない者は申しこめない。
 - ⑤ 研修前のガイダンスの参加、研修後のレポートの提出は義務とする。違反が認められた場合、奨学金の全額返還を求める（その場合、保護者に連絡をとることもありうる）。
- (6) 応募方法：希望者は、4月10日23時までに、ロシア語部会の鳥山祐介 [toriyamayusuke\[at\]gmail.com](mailto:toriyamayusuke[at]gmail.com)、渡邊日日 [watanabe\[at\]anthro.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:watanabe[at]anthro.c.u-tokyo.ac.jp)（どちらも[at]を@にかえて）二名宛てにメールすること。応募メールには氏名、パスポート上の表記通りのローマ字、生年月日、学生証番号を記すこと。応募者に対しては、確認の返信メールを送るので確認のこと（48時間たっても返信メールがない場合は再度メールを送ること）。返信メールは選抜試験の受験票となるので、選抜試験当日それをA4用紙に印刷して学生証と共に持参すること。

2019年4月2日
教養学部ロシア語部会